

性愛をめぐるシヴァとパールヴァティーの対話

— *Ratīśāstra* 和訳 (2) —

堀田 和義

はじめに

本稿は、作者不明の *Ratīśāstra* (以下, RŚ) 後半部 (第 128~272 詩節) の和訳である。RŚ の概要, および第 127 詩節までの和訳は, 堀田 2021 を参照していただきたい。

翻訳に際しては, 堀田 2021 と同様, 以下のものを底本とし, 同書に含まれる英訳を参照した。

- *Conjugal Love in India: Ratīśāstra and Ratīramaṇa. Text, Translation, and Notes.* Kenneth G. Zysk. Sir Henry Wellcome Asian Studies Volume 1. Leiden/Boston/Köln: Brill, 2002. (= Zysk 2002)

シノプシス

ナンダーをはじめとする日の影響 (128-131)

導入部 (128)

ナンダー, バドラー, プールナーの影響 (129)

ジャヤーの影響 (130)

リクターの影響 (131)

ナンダーをはじめとする日の定義 (132-136)

- 導入部 (132)
- ナンダーの定義 (133)
- バドラーの定義 (134)
- ジャヤーの定義 (135)
- リクター, プールナーの定義 (136)
- ナンダーをはじめとする日と曜日の成功・不幸をもたらす一致 (137-141)
 - 導入部 (137)
 - 成功をもたらす一致 (138)
 - 不死と呼ばれる日 (139)
 - 不幸をもたらす日 (140)
 - 3種類の日の吉凶 (141)
- 最初の月経期間に対する星宿の影響 (142-145)
 - 導入部 (142)
 - 星宿が分割されていない時の影響 (143)
 - 星宿が半分割された時の影響 (144)
 - 月が星宿の4分の1にある時の影響 (145)
- 時間帯の影響 (146-148)
 - 昼の時間帯の影響 (146)
 - 夜の時間帯の影響 (147)
 - 夜明け, 残りの時間帯の影響 (148)
- 最初の3日間の影響 (149-152)
 - 導入部 (149)
 - 1～3日目の月経の影響 (150)
 - 1日目の性交の影響 (151)
 - 2日目, 3日目の性交の影響 (152)
- シュードラとパラモン女性の子ども (153)
- 『パドマ・プラーナ』の所説 (154-180)
 - 導入部① (154)

導入部②	(155)
導入部③	(156)
女性に近付いてはならない日	(157-158)
成熟していない女性に近付くことの影響	(159)
夜間の性交の影響	(160-163)
夜の最初の時間帯の性交の影響	(160)
夜の2番目の時間帯の性交の影響	(161)
夜の3番目の時間帯の性交の影響	(162)
夜の4番目の時間帯の性交の影響	(163)
日中の性交の影響	(164-180)
導入部	(164)
日中の性交の影響①	(165)
日中の性交の影響②	(166)
日中の性交の影響③	(167)
4日目の性交の影響	(168-169)
4日目の性交の影響①	(168)
4日目の性交の影響②	(169)
5日目の性交の影響	(170)
6日目の性交の影響	(171)
7日目の性交の影響	(172)
8日目の性交の影響	(173)
9日目の性交の影響	(174)
10日目の性交の影響	(175)
11日目の性交の影響	(176)
12日目の性交の影響	(177)
13日目の性交の影響	(178)
14日目の性交の影響	(179)
結び	(180)

聖仙たちの所説 (181-224)

導入部① (181)

導入部② (182)

本性的に妊娠可能な期間 (183)

禁止される夜と推奨される夜 (184)

最初の4日間の女性の名称・状態 (185)

女性に近づくべき日 (186)

4～6番目の夜の影響 (187)

7～9番目の夜の影響 (188)

10～12番目の夜の影響 (189)

13～16番目の夜の影響 (190-191)

性交禁止の条件 (192-193)

性交禁止の条件① (192)

性交禁止の条件② (193)

最初の4日間に関する規定 (194-202)

最初の4日間に関する規定① (194)

最初の4日間に関する規定② (195)

最初の4日間に関する規定③ (196)

最初の4日間に関する規定④ (197)

最初の4日間に関する規定⑤ (198)

最初の4日間に関する規定⑥ (199)

最初の4日間に関する規定⑦ (200)

最初の4日間に関する規定⑧ (201)

最初の4日間に関する規定⑨ (202)

最初の4日間に関する規定の異説1 (203-209)

最初の4日間に関する規定の異説1① (203)

最初の4日間に関する規定の異説1② (204)

最初の4日間に関する規定の異説1③ (205)

- 最初の4日間に関する規定の異説1④ (206)
- 最初の4日間に関する規定の異説1⑤ (207)
- 最初の4日間に関する規定の異説1⑥ (208-209)
- 最初の4日間に関する規定の異説2 (210)
- 他の女性に近づく者の果報 (211)
- 結び (212)
- 女性に近づくべき時の規定 (213-217)
 - 女性に近づくべき時の規定① (213)
 - 女性に近づくべき時の規定② (214)
 - 女性に近づくべき時の規定③ (215)
 - 女性に近づくべき時の規定④ (216)
 - 女性に近づくべき時の規定⑤ (217)
- 他の女性に近づく者の果報 (218)
- シュードラの食事を食べた者の果報 (219-220)
 - シュードラの食事を食べた者の果報① (219)
 - シュードラの食事を食べた者の果報② (220)
- 月経後の沐浴を終えた妻に近付かない者の果報 (221)
- 性交しようとする男性の沐浴 (222)
- 妊娠可能でない期間の性交の影響 (223)
- 時間帯ごとの規定 (224)
- 昼夜に関する規定 (225-226)
 - 規定に従う者の果報 (225)
 - 昼と夜に関する規定の果報 (226)
- 論書を信頼しない再生族の果報 (227)
 - 再生族と一生族 (228)
- 夭逝、四肢の欠損などの原因 (229-232)
 - 導入部① (229)
 - 導入部② (230)

- 満月・新月の日の影響 (231-232)
 - 満月・新月の日の影響① (231)
 - 満月・新月の日の影響② (232)
- 妊婦が避けるべきこと (233-237)
 - 妊婦が避けるべきこと① (233)
 - 妊婦が避けるべきこと② (234)
 - 妊婦が避けるべきこと③ (235-236)
 - 妊婦が避けるべきこと④ (237)
- 最初の3夜の性交の影響 (238-244)
 - 導入部 (238)
 - 最初の3夜の性交の影響 (239)
 - 1日目の性交の影響 (240)
 - 2日目の性交の影響 (241)
 - 3日目の性交の影響 (242)
 - 4～16日目までの性交の影響 (243)
 - 後の日の方が優れている (244)
- 妊娠可能な期間に避けるべきこと (245-247)
 - 妊娠可能な期間に避けるべきこと① (245)
 - 妊娠可能な期間に避けるべきこと② (246)
 - 妊娠可能な期間に避けるべきこと③ (247)
- 子宮筋腫の原因 (248-250)
 - 導入部 (248)
 - 子宮筋腫の原因 (249-250)
- 4種類の女性が好む寝床 (251-259)
 - 導入部① (251)
 - 導入部② (252)
 - 蓮華性が好む寝床 (253)
 - 雑色性が好む寝床 (254-255)

雑色性が好む寢床①	(254)
雑色性が好む寢床②	(255)
貝殻性が好む寢床	(256)
牝象性が好む寢床	(257-258)
牝象性が好む寢床①	(257)
牝象性が好む寢床②	(258)
まとめ	(259)
女性を喜ばせる手段	(260-271)
導入部①	(260)
導入部②	(261)
蓮華性を喜ばせる手段	(262-264)
蓮華性を喜ばせる手段①	(262)
蓮華性を喜ばせる手段②	(263)
蓮華性を喜ばせる手段③	(264)
雑色性を喜ばせる手段	(265-266)
雑色性を喜ばせる手段①	(265)
雑色性を喜ばせる手段②	(266)
貝殻性を喜ばせる手段	(267-268)
牝象性を喜ばせる手段	(269-271)
牝象性を喜ばせる手段①	(269)
牝象性を喜ばせる手段②	(270)
牝象性を喜ばせる手段③	(271)
本書の聴聞の果報	(272)

和 訳

【ナンダーをはじめとする日の影響】

〈導入部〉

シヴァは言いました——

128. 女神よ、お聞きなさい。論書で述べられている通りに、初めての月経に対するナンダー、バドラーをはじめとする日の影響をお話ししましょう。

〈ナンダー、バドラー、プールナーの影響〉

129. もしナンダー、バドラー、プールナーに〔初めての〕月経が生じたならば、その女性は夫に貞節な者になります、偉大な女神よ。

〈ジャヤーの影響〉

130. 女神よ、もしジャヤーに初めての月経が生じたならば、その女性は子孫に恵まれ、〔夫の〕⁽¹⁾名声を増大させます。

〈リクターの影響〉

131. 女神よ、もしリクターに初めての月経が生じたならば、その女性は寡婦になります。これは確かな真実であり、疑いはありません。

【ナンダーをはじめとする日の定義】

〈導入部〉

パールヴァティー⁽²⁾は尋ねました——

132. ナンダーとは何ですか、バドラー、プールナー、ジャヤーとは何ですか、偉大なる自在神よ。同様に、リクターとは何ですか、神よ。私に話して下さい、憐みの宝庫よ。

〈ナンダーの定義〉

シヴァは答えました——

133. 1日目、6日目、11日目がナンダーであると知りなさい、偉大な女神よ。
〔次に〕バドラーについて、注意深くお聞きなさい。⁽³⁾

〈バドラーの定義〉

134. 偉大な女神よ， 2日目， 7日目， 12日目がバドラーであると知りなさい， 腰つきの美しい女よ． 論書に精通した者たちによって， [以上のように] 言われています．

〈ジャヤーの定義〉

135. 女神よ， 3日目， 8日目， 13日目がジャヤーであると知りなさい， 腰つきの美しい女よ． 最上の聖者たちによって， [以上のように] 示されています．

〈リクター， プールナーの定義〉

136. 4日目， 9日目， 14日目がリクターであり， 満月の日， 新月の日， 5日目， 10日目がプールナーです．

【ナンダーをはじめとする日と曜日の成功・不幸をもたらす一致】

〈導入部〉

137. 女神よ， ナンダーやバドラーなどの影響を [あなたは] 述べられた通りに聞きました． これからは， 成功・不幸をもたらす [大陰日と曜日の] 一致などをお話ししましょう．

〈成功をもたらす一致〉

シヴァは言いました――

138. ナンダーが金曜日に， バドラーが水曜日に， リクターが土曜日に， ジャヤーが火曜日に， プールナーが木曜日に当たる場合， 成功をもたらす一致とされています．

〈不死と呼ばれる日〉

139. プールナーが月曜日か日曜日に， バドラーが火曜日に， ジャヤーが木曜

日に、ナンダーが水曜日か土曜日に、リクターが金曜日に当たるならば、その日は不死〔と呼ばれます〕。

〈不幸をもたらす日〉

140. ナンダーが日曜日か火曜日に、バドラーが金曜日か月曜日に、ジャヤーが水曜日に、リクターが木曜日に、プールナーが土曜日に当たる場合、〔その日は〕不幸をもたらします。

〈3種類の日の吉凶〉

シヴァは言いました――

141. 最初の月経期間における成功をもたらす一致と不死の影響は吉祥なものです。女神よ、不幸をもたらす一致の影響は、全面的に不吉なものです。

【最初の月経期間に対する星宿の影響】

〈導入部〉

142. 女神よ、性愛学〔の書〕において述べられている通りに、四分円の区別にもとづいて、〔最初の月経期間に対する〕星宿の影響についてお話ししましょう。注意深くお聞きなさい。

〈星宿が分割されていない時の影響〉

143. もし星宿が〔月の通過によって〕分割されていない時に〔最初の〕月経が生じたならば、その女性はいつも幸福であり、必ず幸せに暮らします。

〈星宿が半分分割された時の影響〉

144. 女神よ、もし〔星宿が月の通過によって〕半分分割された時に〔最初の〕月経が生じたならば、その女性は苦しみを得ます。この点に関して、疑いを差しはさんではなりません。

〈月が星宿の4分の1にある時の影響〉

145. 〔月が星宿の〕4分の1にある時に〔最初の〕月経が生じた女性は、論書で確定されている通りに、胎児が死んでしまいます。

【時間帯の影響⁽⁴⁾】

〈昼の時間帯の影響〉

シヴァは言いました――

146. 昼の時間帯に女性に最初の月経が生じたならば、その女性は幸せに暮らし、実に、いつも幸福になります。

〈夜の時間帯の影響〉

147. 地上において⁽⁵⁾、夜の時間帯に〔最初の〕月経が生じたならば、その女性の夫は必ず幸せに暮らします、偉大な女神よ。

〈夜明け、残りの時間帯の影響〉

148. もし夜明け、および残りの時間帯に⁽⁶⁾〔最初の〕月経が生じたならば、その女性は不妊になります。〔これは〕確かな真実であり、疑いはありません。

【最初の3日間の影響】

〈導入部〉

シヴァは言いました――

149. 妊娠可能な期間の〔最初の〕3日間に〔女性に〕近付いたならば、いかなる影響があるのか。また、その場合に、その女性はどのような名前になるのか。これからあなたにそれをお話ししましょう。

〈1～3日目の月経の影響⁽⁷⁾〉

150. 1日目に〔最初の〕月経が生じたならば、その女性はチャンダーラ女性、2日目に〔生じた〕ならば最悪の女性、3日目に〔生じた〕ならば姿を失っ

た女性〔という名前〕⁽⁸⁾になります。

〈1日目の性交の影響〉

151. 4日目には女苦行者〔という名前〕になります。というのも、沐浴して、清められるからです。⁽⁹⁾〔妊娠可能な期間の〕1日目に近付いてはなりません。近付いたら、〔夫の〕⁽¹⁰⁾生命が減びます。

〈2日目、3日目の性交の影響〉

152. 2日目に〔女性に近づく〕ならば、最悪の男性になります。3日目には、女性を放棄しなければなりません。そうでないならば、彼女は〔姿を〕失うでしょう。〔そのように〕⁽¹¹⁾知りなさい、最高の女神よ。

〈シュードラとバラモン女性の子ども〉

153. 恋人の過失ゆえに、シュードラの精液によってバラモン女性〔の母胎〕に宿った者は、直ちにチャンダーラになり、あらゆる者よりも劣ります。

【『パドマ・プラーナ』の所説】

〈導入部①〉

パールヴァティー⁽¹²⁾は言いました――

154. 述べられた通りに、〔あなたの〕蓮のような口から性愛学を聞きました。これからは、『パドマ・プラーナ』で〔述べられていることを〕⁽¹³⁾私に話して下さい、憐みの宝庫よ。

〈導入部②〉

155. 神よ、もし憐みがあるならば、女性に近づくことが禁止されている日を、近付くとどのような影響があり、どのような子孫が生まれるのかを、すべて私に話して下さい。

〈導入部③〉

シヴァは言いました――

156. 女神よ、汚れのない女よ、私があなたにお話することをお聞きなさい。性愛学〔の書〕で〔述べられていること〕を聞いて、あなたに神聖な知識が備わりますように。

〈女性に近付いてはならない日〉

157-158. 〔半月の〕8日目、14日目、満月の日、新月の日、〔太陽がある星宿から他の星宿へ〕⁽¹⁴⁾移行する日、シュラーツダ祭の日、尊敬すべきヴィシユヌを祝う日、⁽¹⁵⁾日曜日⁽¹⁵⁾が、避けるべき日です。女神よ、それらの適切でない時に、賢者は女性に近付いてはなりません。

〈成熟していない女性に近付くことの影響〉

159. 女神よ、もし女性器が成熟していない段階で女性に近付いたならば、彼女の胎内の息子や娘は短命となり、病気になったり、苦しんだりします。⁽¹⁶⁾〔そのように〕知りなさい、パールヴァティーよ。

【夜間の性交の影響】

〈夜の最初の時間帯の性交の影響〉

160. 女神よ、もし〔夜の〕⁽¹⁷⁾最初の時間帯に女性に近付いたならば、彼女の娘や息子は若くして命を落とします。

〈夜の2番目の時間帯の性交の影響〉

161. 夜の2番目の時間帯に女性に近付く⁽¹⁸⁾男性〔の〕娘は貧しくなり、息子も貧しくなると伝えられています。

〈夜の3番目の時間帯の性交の影響〉

162. もしある男性が〔夜の〕3番目の時間帯に女性に近付いたならば、彼の娘

は淫らな者になります。また、彼の息子は最低の男や悪人になり、もっぱら召使いとしての仕事に従事します。

〈夜の4番目の時間帯の性交の影響〉

163. 夜の4番目の時間帯に女性に近づく男性は、クリシュナに対する信愛に専念する息子を手に入れます、女神よ。

【日中の性交の影響】

〈導入部〉

164. 女神よ、以上のように、夜の時間帯の影響をあなたにお話ししました。これから、日中に〔女性に〕近づく者の影響をお話ししましょう。お聞きなさい。

〈日中の性交の影響①〉

165. 偉大な女神よ、感官を克服し、幸福を望む、賢明な男性は、日中には決して女性に近付きません。

〈日中の性交の影響②〉

166. 偉大な女神よ、日中に女性に近づく男性の息子は、短命で、行いの悪い、最低の男になります。

〈日中の性交の影響③〉

167. 彼は事あるごとに不幸に見舞われます。〔この点に〕疑いはありません。偉大な女神よ、このように考えて、決して日中に〔女性に〕近付いてはなりません。

【4日目の性交の影響】

〈4日目の性交の影響①〉

168. 偉大な女神よ、清浄で、賢明な女性は、〔妊娠可能な期間の〕4日目に沐浴した後、装身具で身を飾り、自ら主人に近づくべきです。

〈4日目の性交の影響②〉

169. それにより、もし息子が生まれたならば、^{ダルマ}法に専心する者となるでしょう。もし娘が生まれたならば、夫に対する信愛に専心する者となるでしょう、女神よ。

〈5日目の性交の影響〉

170. 偉大な女神よ、もし男性が5日目に女性に近付いたならば、それにより生まれた娘は、墮落しており、淫らであり、〔一族を〕汚す者になります。

〈6日目の性交の影響〉

171. もしある男性が6日目に女性に近付いたならば、彼の息子が乞食になり、非常に貧しい者になるのは確かです。

〈7日目の性交の影響〉

172. 女神よ、もし男性が7日目に女性に近付いたならば、彼の娘は淫らな者になり、他の男性のもとへ走ります。

〈8日目の性交の影響〉

173. 女神よ、もし〔男性が〕8日目に妻と楽しんだならば、彼は^{ダルマ}法を備えた、幸福な息子を獲得します。

〈9日目の性交の影響〉

174. もし9日目に女性に近づくことにより娘が生まれたならば、彼女は貞淑で、夫に忠実であり、良い行いに専心する者になります。

〈10日目の性交の影響〉

175. もし10日目にある男性が妻と楽しんだならば、彼は、優れた美質と習慣を備えた、幸福な息子を獲得します。

〈11日目の性交の影響〉

176. もし11日目に男性が女性に近付いたならば、彼の娘は、^{デルマ}法に立脚し、一族を繁栄させる者になるでしょう。

〈12日目の性交の影響〉

177. 女神よ、12日目に男性が女性に近付いたならば、彼の息子は、真実を語り、感官を克服し、悪業がなく、長寿で、ヴィシユヌに対する信愛に専心する者になるでしょう。

〈13日目の性交の影響〉

178. 偉大な女神よ、13日目に〔女性に近付いた男性に〕娘が生まれたならば、その娘は、感官を克服し、良い行いに専心しており、甘い言葉を語り、常に真実に依拠します。

〈14日目の性交の影響〉

179. 女神よ、実に、14日目に女性に近づく男性には、非常に幸福で、賢明な息子が生まれます。

〈結び〉

180. 女神よ、以上、性愛学〔の書〕において述べられている通りに、あなたにお話ししました。世において、男性はこれを理解した後に、女性に近づくべきです。

【聖仙たちの所説】

〈導入部①〉

シヴァは言いました――

181. 女神よ、お聞きなさい。マヌ、ヤージュニャヴァルキヤ、シャーンキヤ、バラドヴァージヤをはじめとする数多くの賢明な聖仙たちが説いた通りに、女性に近付くための規則についてお話ししましょう。

〈導入部②〉

182. 生まれた子どもの苦しみや病気などは、⁽¹⁹⁾ 実に、規則に反して〔女性に〕近付くことで起こります。お聞きなさい、愛しい女よ。

〈本性的に妊娠可能な期間〉

183. 〔各半月の〕16の〔⁽²⁰⁾ 昼と〕夜が、女性の本性的に妊娠可能な期間と伝えられています。そして、そのいずれかの日に女性に近付けば、妊娠します。

〈禁止される夜と推奨される夜〉

184. これら（＝16夜）のうちの最初の4夜、11番目、13番目の夜は〔性交を〕禁止されていますが、残りの10夜は推奨されています。

〈最初の4日間の女性の名称・状態〉

さらにまた――

185. 女性は、1日目にはチャンダーラ女、2日目にはバラモン殺し、3日目には洗濯女と呼ばれ、4日目には浄められます。

〈女性に近付くべき日〉

他の場所では〔次のように述べられています〕――

186. 非常に賢明な者は、5つの節目を⁽²¹⁾避けて女性に近付くべきです。夫に忠実な女性は〔月経開始後〕4日目に夫の住処へ近付くべきです。しかし、〔月が〕マガー星宿とムーラ星宿〔にある時〕を慎重に避けるべきです。

〈4～6 番目の夜の影響〉

187. 4 番目の夜の〔性交で生まれた〕息子は、短命で、貧しい者になります。
5 番目の〔夜の性交により、〕女性は息子を獲得します。一方、6 番目の〔夜の性交で生まれた〕息子は、平凡な者になります。

〈7～9 番目の夜の影響〉

188. 7 番目の〔夜の性交により、〕女性は不妊になります。8 番目の〔夜の性交により、〕男性は王になります。9 番目の〔夜の性交により、〕女性は幸運で、非常に美しくなります。

〈10～12 番目の夜の影響〉

189. 10 番目の〔夜の性交で生まれた〕息子は、優れた者であると知りなさい、美しい女よ。11 番目の〔夜の性交により、〕女性は法^{グルマ}を欠いた者になり、12 番目の〔夜の性交で生まれた息子は〕最高の男性になります。

〈13～16 番目の夜の影響〉

190-191. 13 番目の〔夜の性交により〕、ヴァルナの混淆を引き起こす、邪悪な娘が〔生まれます〕。14 番目、15 番目の〔夜の性交により、〕夫に忠実な娘が生まれます。16 番目の〔夜の性交により、〕法^{グルマ}を知り、恩を知り、自己を知り、堅固な誓戒を備えた、万物の拠り所となる息子が生まれます⁽²²⁾。

【性交禁止の条件⁽²³⁾】

〈性交禁止の条件①〉

192. 病に苦しんでいる男性は病に苦しんでいる女性に、汚れた男性は汚れた女性に、日中であっても薄明時であっても近付いてはなりません。以上が、論書を知る者たちの見解です。

〈性交禁止の条件②〉

193. 論書で述べられているように、楽しみを求めるいかなる男性であっても、夜明け、日中、薄明時には、決して女性に近付いてはなりません。

【最初の4日間に関する規定】

〈最初の4日間に関する規定①〉

194. 妊娠可能な期間の最初の4日間は、男性は女性に触れてはいけません。しかし、慣習によると、各月の妊娠可能な期間のうちのこの期間は除外されます。⁽²⁴⁾

〈最初の4日間に関する規定②〉

195. 4日目に沐浴すれば、女性は清浄さを獲得することができます。この優れた儀礼は、あらゆるヴァルナ⁽²⁵⁾に関して述べられています。⁽²⁶⁾

〈最初の4日間に関する規定③⁽²⁷⁾〉

196. 経血を目にしたならば、その欠陥ゆえに、〔女性は〕すべての者を避けなければなりません。すべての者に気付かれないように素早く〔動き〕、屋内で控え目に過ごすべきです。

〈最初の4日間に関する規定④〉

197. 〔最初の3日間は〕一枚の衣をまとい、⁽²⁸⁾悲しげにし、沐浴も装身具も避け、沈黙して俯き、眼、手、足を動かさないようにする〔べきです〕。

〈最初の4日間に関する規定⑤〉

198. また、夜間は、一人きりで、土製の器から食べ物を食べ、地面で注意深く眠らなければなりません。⁽²⁹⁾このように、3日間にわたって苦行を行うべきです。

〈最初の4日間に関する規定⑥〉

199. 3夜が明けて太陽が昇ったら、彼女は衣を着たまま沐浴をするべきです。そして、清浄な衣に着替えば、清浄さを獲得することができます。

〈最初の4日間に関する規定⑦〉

さらにまた――

200. 蜂蜜⁽³⁰⁾、肉、割れた器に入った食べ物、香りの良い花輪、昼寝、ターンブーラで〔口中を〕清めることを避けなければなりません。

〈最初の4日間に関する規定⑧〉

201. 彼女は、焼いた土製の皿から食べるべきであり、掌⁽³¹⁾で水を飲んではいけません。また、乳製品を食べてはならず、牛乳を飲んでもいけません⁽³²⁾。

〈最初の4日間に関する規定⑨〉

202. また、花や装身具を身につけること、軟膏〔を塗ること〕、泣くこと、香〔を使用すること〕、台座などに乗ること、火に触れること⁽³³⁾。これらすべてを〔最初の〕3日間は、完全に避けるべきです。

【最初の4日間に関する規定の異説1】

〈最初の4日間に関する規定の異説1①〉

別のところでは〔次のように言われています〕――

203. 月経中の女性は、軟膏を塗ったり、沐浴したり、旅に出たり、歯を磨いたり、〔5つの〕惑星⁽³⁴⁾を見たりしてはいけません。

〈最初の4日間に関する規定の異説1②〉

204. 女性には、16の妊娠可能な〔昼と〕夜があります。それらのうち、〔男性は〕偶数〔の夜〕に〔女性に〕近づくべきです⁽³⁵⁾。しかし、節目と最初の4日間は、ブラフマチャーリンさながらに避けるべきです。

〈最初の4日間に関する規定の異説1③〉

205. 〔妊娠可能な期間の〕4日目に女性に近付けば、妊娠します。しかし、経血が流れるその日に、男性は女性に近付いてはなりません。⁽³⁶⁾

〈最初の4日間に関する規定の異説1④〉

206. 女神よ、妊娠可能な期間の〔最初の〕3日間は、女性は不浄です。お聞きなさい、その場合、女性は、決して軟膏を塗ったり、油を塗ったり、沐浴したりしてはなりません。

〈最初の4日間に関する規定の異説1⑤〉

207. 女性は、地面に寝床を敷いて、そこで横になるべきです。そして、⁽³⁷⁾昼寝と経血の飛散を避けなければなりません。

〈最初の4日間に関する規定の異説1⑥〉

208-209. 火に触れること、過度の笑い、歯を磨くこと、肉を食べること、外の物を見ること、⁽³⁸⁾掌で水を飲むこと、身体の疲れを伴う運動、金属の器や鉢から食べ物を食べること。月経中の女性は、これらすべてを⁽³⁹⁾完全に避けるべきです。

〈最初の4日間に関する規定の異説2〉

さらにもた――

210. 月経中の女性は、〔最初の〕3夜は不浄です。〔それゆえに、〕軟膏を塗ったり、水で沐浴をしたりしてはいけません。地面で横になるべきです。また、昼寝をしたり、縄を編んだりしてはいけません。火に触れたり、歯を磨いたり、肉を食べたりしてもいけません。〔他人の〕家を見たり、笑ったり、何かをしたりしてもいけません。掌で水を飲んだり、銅や鉄製の鉢から水を飲んだりしてもいけません。

〈他の女性に近づく者の果報〉

211. 自分の妻を捨てて、他の女性に近づく者は、死後は地獄へ赴き、この世でも長寿を失います。

〈結び〉

212. このように考えて、賢者は、16日間の妊娠可能な期間に、成熟した自分の妻に近づくべきであると言われています。

【女性に近づくべき時の規定】

〈女性に近づくべき時の規定①〉

213. しかし、男性は、たとえ妊娠可能な期間でなくても、欠陥がなく、欲望を抱いている女性には、論書で述べられている通りに常に近づくべきです。以上のようにあなたに語られたことをお聞きなさい。

〈女性に近づくべき時の規定②〉

214. 一方、胎児が発育していても、女性が過度に欲望を抱いているならば、彼女の性欲を鎮めるために、男性はその女性に近づくことができます。

〈女性に近づくべき時の規定③⁽⁴⁰⁾〉

215. 妊娠可能な期間には、5つの節目とジューシューター、ムーラー、マガー、アシレーシャー、レーヴァティ、クリッティカー、アシュヴィニー、3つのウッター⁽⁴¹⁾〔に月がある時〕を避け、節目を除いて、〔女性に〕近づくべきです。以上のように確定しています。

〈女性に近づくべき時の規定④〉

216. 妊娠可能な期間に妻に近付かず、妊娠可能でない期間に近づく者、および女性器のない者に近づく者。この両者の過失は同等であると人々は言います。

〈女性に近づくべき時の規定⑤〉

217. 5つの節目、妊娠可能でない期間、健康でない状態の時に〔女性に〕近づく者は、3夜にわたる断食によって悪業から解放されます。以上が、論書で述べられている見解です。

〈他の女性に近づく者の果報〉

218. 偉大な女神よ、欲望により、他の女性を見たり、触れたり、声を掛けたりする者は、梵行から脱落します。

【シュードラの食事を食べた者の果報】

〈シュードラの食事を食べた者の果報①〉

219. シュードラの食事を食べて女性に近づく男性の息子は、たとえ再生族であつても、シュードラのように不浄となります、愛しい女よ。

〈シュードラの食事を食べた者の果報②〉

220. シュードラの食事で腹を満たした後、父親が妻に近づくならば、その者からはシュードラの性質を備えた息子が生まれます、愛しい女よ。

〈月経後の沐浴を終えた妻に近付かない者の果報〉

221. 月経後の沐浴を終えた妻に近付かない者は、恐ろしい地獄へ赴き、「バラモン殺し」と呼ばれます。⁽⁴²⁾

〈性交しようとする男性の沐浴〉

222. 偉大な女神よ、妊娠可能な期間には胎児が生じます。愛しい女よ、それゆえに、その時期に性交しようとする男性の沐浴が伝えられています。

〈妊娠可能でない期間の性交の影響〉

223. 一方、妊娠可能でない期間には、小便や大便の場合と同様、常に清めを行

うべきです。寢床に入った夫婦は、両方とも不浄になります。女性は寢床から起き上がると清浄になりますが、男性は不浄なままです。

〈時間帯ごとの規定〉

224. 最初と最後の時間帯は、常にヴェーダ読誦で時間を過ごすべきです。女神よ、そして、他の2つ〔の時間帯〕に、女性の享受が規定されています。⁽⁴³⁾

【昼夜に関する規定】

〈規定に従う者の果報〉

225. 規定されたことに従う者は、必ず解脱を獲得するという教えが説かれています。私はあなたにお話ししましょう。

〈昼と夜に関する規定の果報〉

226. 私が述べた昼と夜に関する規定をすべて聞けば、男性は常に知識に専心する者となるでしょう。

〈論書を信頼しない再生族の果報〉

227. 論書を信頼せず、敬わず、従わない再生族は、地獄へ赴き、動物の胎内に生まれます。以上のように、論書で確定しています。

〈再生族と一生族〉

228. バラモン、クシャトリヤ、ヴァイシヤという3つのヴァルナが再生族です。4番目のシュードラは一生族であり、5番目はありません。

【夭逝、四肢の欠損などの原因】

〈導入部①〉

パールヴァティー⁽⁴⁴⁾は尋ねました——

229. 神よ、偉大な神よ、どうして子どもは若くして命を落とすのですか。また、

どうして、四肢が欠損したり、変形したりしている胎児が生じるのですか。

〈導入部②〉

230. このすべてを話して下さい。どうして弱い性質を持つ〔息子が生まれるのですか〕、あるいは、時間が引き起こす変化に従って、どのように息子が生まれるのですか。おお、神よ、もし憐みがあるならば、そのすべてを話して下さい。

【満月・新月の日の影響】

〈満月・新月の日の影響①〉

シヴァは答えました――

231. 偉大な女神よ、性愛学〔の書〕において、満月の日と新月の日は、養液を過剰にすると⁽⁴⁵⁾言われています。

〈満月・新月の日の影響②〉

232. その時期に女性に近付くと、必ず養液が過剰になります。そして、その女性の胎内には、力が弱く、四肢に欠損のある子どもが生じ、若くして命を落とします。〔そのように〕知りなさい、美しい女よ。

【妊婦が避けるべきこと⁽⁴⁶⁾】

〈妊婦が避けるべきこと①〉

233. 過労、夫に近付くこと、辛く、重くて消化しづらい食べ物、昼寝、恐れ、苦しみ、

〈妊婦が避けるべきこと②〉

234. 運び難い物、重荷を担うこと、恐ろしいものを見ること等、仰向けで横になること、心を興奮させること、

〈妊婦が避けるべきこと③〉

235-236. 多く歩き回ることに、乗り物などに乗ること等、平坦ではない場所に
住むこと。妊婦は、これらすべてを注意深く避けるべきです。なぜならば、
これらはすべて、胎児と妊婦にとって病気の原因になりうるからです。

〈妊婦が避けるべきこと④〉

237. 妊娠可能な期間であっても、女性は常にこれらを避けるべきです。女神よ、
論書に違反することは、多くの病気の根源になります。

【最初の3夜の性交の影響】

〈導入部〉

パールヴァティー⁽⁴⁷⁾は言いました——

238. 妊娠可能な期間の最初の3夜に、女性が夫に近付いたならば、どのよう
な結果が生じるのですか、神よ。私に話して下さい、慈悲の海よ。

〈最初の3夜の性交の影響〉

シヴァは答えました——

239. お聞きなさい、女神よ。あなたが尋ねたことをお話ししましょう、罪のない
女よ。妊娠可能な期間〔の最初の3夜〕には、必ず女性から勢いよく経血
が流れ出します。そして、〔女性に〕近付いても、男性の種子は決して〔胎
内〕に入りません。

〈1日目の性交の影響〉

240. 偉大な女神よ、もし1日目に女性が夫に近付いたならば、彼女の夫と息
子は遠からず命を落とします。〔この点には〕疑いがありません。

〈2日目の性交の影響〉

241. 2日目に夫に近付いても、同じ結果が生じます。この息子は必ず、生まれ

てすぐに産屋で命を落とします。

〈3日目の性交の影響〉

242. 3日目に近付いたならば、子どもは短命になります。同様に、スシュルタが述べたように、四肢に欠損のある者が生まれます。

〈4～16日目までの性交の影響〉

243. 4日目から16日目までに女性に近づくべきであり、4日目から離れるほど〔優れています〕。

〈後の日の方が優れている〉

244. 女性に近づくことに関して、それぞれの日を計算すると、順にそれぞれ後の日の方が前〔の日〕よりも優れています。

【妊娠可能な期間に避けるべきこと】

〈妊娠可能な期間に避けるべきこと⁽⁴⁸⁾①〉

245. 油の塗布、爪を切ること、泣くこと、軟膏を塗ること、昼寝、沐浴、肢体に香を塗ること、

〈妊娠可能な期間に避けるべきこと②〉

246. 過度の笑い、多弁、整髪、大きな声を聞くこと、多くの風に当たること、過労。妊娠可能な期間の女性は、〔これらを〕避けるべきです。

〈妊娠可能な期間に避けるべきこと③〉

247. なぜならば、これらすべては経血を汚して、病気の原因になりうるからです。以上のように、あなたにお話ししました、愛しい女よ。

【子宮筋腫の原因】

〈導入部〉

シヴァは言いました――

248. これから私があなたにお話しする詳細を、注意深くお聞きなさい。偉大な女神よ、それを聞けば、偉大な知識が生じます。

〈子宮筋腫の原因〉

249-250. 妊娠可能な期間にあつて、尿などの排出を控え、まったく同様に、断食などを行い、夫へ近付く女性は、必ず子宮筋腫⁽⁴⁹⁾などに苦しめられます。実に、私が述べたこのことは、チャラカが認めていることです。お聞きなさい。

【4種類の女性が好む寝床】

〈導入部①〉

パールヴァティー⁽⁵⁰⁾は尋ねました――

251. 偉大な方よ、あなたが語った妊娠可能な期間に関する教説を聞きました。これからは、4種類の女性について、どの寝床がどの女性に喜びをもたらすのか、あるいは、どの女性がどの〔寝床〕に心地よく横たわるのかを、私に話して下さい、神よ。

〈導入部②〉

シヴァは答えました――

252. 偉大な女神よ、〔あなたは〕確かな真実であり、魅力的な質問をしました。私はそれをあなたにお話ししましょう。すべてを心に留めなさい。

〈蓮華性が好む寝床⁽⁵¹⁾〉

253. 香や柅檀を薫じた花の寝床を用意すれば、心を喜ばせるために、蓮華性⁽⁵²⁾が横たわります。

【雑色性が好む寝床】

〈雑色性が好む寢床①〉

254. さて、これから、雑色性⁽⁵³⁾の心を喜ばせる、横たわるための寢床についてお話ししましょう。それをお聞きなさい、王の娘よ。

〈雑色性が好む寢床②〉

255. 香や柅檀を薫じた木綿製の寢床を用意して、様々な美しさを備えた雑色性はその上に横たわります。

〈貝殻性が好む寢床〉

256. 牛乳の泡のような、清浄で、神聖な寢床を広げて、貝殻性⁽⁵⁴⁾は満足して横たわります。この点に疑いはありません。

【牝象性が好む寢床】

〈牝象性が好む寢床①〉

257. 牝象性⁽⁵⁵⁾は、魚と肉を好み、驕りにより悩まされています。彼女の寢床はどのようなものであるのか、それをお聞きなさい、偉大な女神よ。

〈牝象性が好む寢床②〉

258. もし神聖な寢床を放棄して、地面に横たわるならば、彼女は最高の喜びを得ます。以上の点に疑いはありません。

〈まとめ〉

259. 以上のように、原初の学問に含まれるものをすべてあなたにお話ししました、女神よ。これを知って、考察した後、心のままに行動しなさい。

【女性を喜ばせる手段】

〈導入部①〉

パールヴァティー⁽⁵⁶⁾は言いました――

260. 神よ、性愛学〔の書〕で述べられた言葉を、述べられた通りに聞きました。
これからは、憐みにより、女性を喜ばせる手段を話して下さい。

〈導入部②〉

シヴァは答えました――

261. 女神よ、お聞きなさい。あなたが尋ねたことをお話ししましょう、罪のない女よ。蓮華性と貝殻性がどのようにして満足を得るのかということ。

【蓮華性を喜ばせる手段】

〈蓮華性を喜ばせる手段①〉

262. 女神よ、お聞きなさい。蓮華性を満足させる手段についてお話ししましょう。彼女を喜ばせる〔手段〕をお聞きなさい、偉大な女神よ。

〈蓮華性を喜ばせる手段⁽⁵⁷⁾②〉

263. 賢明な男性は、安楽な座具と一緒に座っている、夫に忠実なその女性を、
法ダルマに適った言葉により、丁寧に満足させるでしょう。

〈蓮華性を喜ばせる手段③〉

264. 男性は、甘い言葉によって、〔女性の〕心に喜びを生じさせるべきです。
また、多くの種類の食べ物、至上の宝石の装身具を贈り、飲み物を差し出すべきです。そうすれば、彼女は満足するでしょう。

【雑色性を喜ばせる手段】

〈雑色性を喜ばせる手段①〉

265. 雑色性が最高に喜ぶ方法を、簡潔にお話ししましょう。偉大な女神よ、心を集中してお聞きなさい。

〈雑色性を喜ばせる手段②〉

266. 左脇に座っている、様々な美しさを備えた雑色性に、愛情に満ちた言葉で話しかけ、昔話などによって、従順な彼女に教えを説くべきです。〔そうすれば、〕彼女は必ず満足するでしょう。

〈貝殻性を喜ばせる手段〉

267-268. 女神よ、貝殻性は、甘い言葉によって決して満足することなく、宝石や様々な装身具、高価な服、愛情に満ちた言葉によって満足します。貝殻性は、いつもこれらによって心を満足させます。

【牝象性を喜ばせる手段】

〈牝象性を喜ばせる手段①〉

269. 〔牝象性は、〕宝石や装身具、甘い言葉、神々しい衣によって、決して満足しません。

〈牝象性を喜ばせる手段②〉

270. 〔牝象性の〕心は、愛情に満ちた言葉によっても、決して満足しません。彼女はいつも行いが悪く、邪悪な行為を喜んでばかりいます。

〈牝象性を喜ばせる手段③〉

271. 牝象性は行いが残酷であり、いつも大量の食べ物と邪悪な行為をすることによって満足します。

〈本書の聴聞の果報〉

272. 以上、性愛学〔の書〕の秘密を語りました、幸いな女よ。それを知れば、すべての人は三大目的の果報に与ることができるでしょう。

『ラティ・シャーストラ』終わり。

【参考文献】

大地原 誠玄

- 1993a 『スシュルタ本集（第1巻）』, たにぐち書店.
1993b 『スシュルタ本集（第2巻）』, たにぐち書店.

菊谷 竜太

- 2011 「インド密教における『秘密集会タントラ』の受容と展開—『吉祥金剛心髓莊嚴タントラ』 *Śrīvajrahr̥dayālamkāra Tantra* を中心に—」, 『日本仏教学会年報』第77号, pp. 213-235.

堀田 和義

- 2021 「性愛をめぐるシヴァとパールヴァティーの対話—*Ratīśāstra* 和訳(1)—」, 『佛教學セミナー』第114号, pp. 22-50.

渡瀬 信之

- 2013 『マヌ法典』(東洋文庫842), 平凡社.

Kane, Pandurang V.

- 1994 *History of Dharmasāstra: Ancient and Mediaeval Religious and Civil Law Vol. V, Part I. Government Oriental Series Class B, No. 6. Poona: Bhandarkar Oriental Research Institute (3rd ed.)*.

Zysk, Kenneth G.

- 2002 *Conjugal Love in India: Ratīśāstra and Ratīramaṇa. Text, Translation, and Notes. Sir Henry Welcome Asian Studies Volume 1. Leiden/Boston/Köln: Brill.*

(本研究は JSPS 科研費 19K12953 の助成を受けたものである)

註

- (1) Zysk 2002 に従って補った。
- (2) 尊い女神 (bhagavatī)
- (3) Zysk 2002 は pratipattithi の訳語を欠く。また、本詩節から第136詩節まで「前半月の (of the first lunar fortnight)」という語を補うが、根拠が明確でないため従わなかった。
- (4) 第146~148詩節は、*Ratīramaṇa* 第7章の詩節と対応する。対応関係に関する詳細は、Zysk 2002, p. 33の対照表を参照。
- (5) Zysk 2002 は「経血を地面にこぼす (spills her menstrual blood on the ground)」と解するが、従わなかった。
- (6) Zysk 2002 は「夕暮れ (dusk)」と解する。この点については、Zysk 2002, p. 110,

n. 148 を参照.

- (7) 第 150~191 詩節は、*Ratiramāṇa* 第 8 章の詩節と対応する。対応関係に関する詳細は、Zysk 2002, pp. 33-34 の対照表を参照.
- (8) Zysk 2002, p. 110, n. 150 によれば、目に見えず、存在しないかのように見なされることを意味する.
- (9) Zysk 2002 は「4 日目に沐浴をすれば、女苦行者〔のように〕完全に清浄となる (When she bathes on the fourth day, she becomes completely pure (like) a female ascetic (Tapasvīnī).)」と解するが、“yatas”の意味、および位置を考慮して、従わなかった.
- (10) RŚ 240 を参考に補った.
- (11) 2 日目, 3 日目の影響については、RŚ 241-242 を参照.
- (12) 尊い女神 (bhagavātī)
- (13) ただし、Zysk 2002, p. 111, n. 153-154 によれば、『パドマ・プラーナ』に対応する箇所は見られないという.
- (14) ハリ (hari)
- (15) Zysk 2002 では「11 日目 (the eleventh day)」とする.
- (16) 山の娘 (naganandinī)
- (17) ここで「時間帯」と訳した語の原語 “prahara” は、夜番の交替時間の一区切りで、3 時間に相当する.
- (18) 原語は “rtuṃ rakṣati.” 直訳するならば、「妊娠可能な期間を守る」となる.
- (19) Zysk 2002 は、「子どもの病気のような苦しみ (Children’s miseries such as disease)」というように、duhkṣāni と rogādayaḥ を同格に解するが、従わなかった.
- (20) Zysk 2002 に従って補った.
- (21) 5 つの節目とは、14 日目, 8 日目, 新月の日, 満月の日, 太陽がある宮 (rāsi) から別のものへ移行する日を指す. この点については、Kane 1994, p. 221 を参照.
- (22) Zysk 2002 は、第 190 詩節の pāda c を、pāda d を飛び越し、第 191 詩節の pāda ab と結び付けて解釈するが、従わなかった. Zysk 2002 の解釈に従うと「13 番目の夜の性交→ヴァルナの混淆を引き起こす邪悪な娘の誕生」「14 番目の夜の性交→法を知り、恩を知り、自己を知り、堅固な誓戒を備えた息子の誕生」「15 番目の夜の性交→夫に忠実な娘の誕生」「16 番目の夜の性交→万物の拠り所となる息子の誕生」となる.
- (23) RŚ 164-167 を参照.
- (24) Zysk 2002 は、pāda cd を「しかし、慣習では、毎月の妊娠可能な期間〔の残り〕はそれを免除します (But custom exempts it every month during (the rest of) her fertile period)」と解するが、「残り」という語を補う根拠が明確でない.
- (25) RŚ 168, 186 を参照.
- (26) Zysk 2002 は「あらゆる指定カースト (all the scheduled castes)」と解するが、根拠が明確でないため、従わなかった.
- (27) 第 196~210 詩節は、*Ratiramāṇa* 第 7 章の詩節と対応する。対応関係に関する詳細は、Zysk 2002, p. 34 の対照表を参照.

- (28) Zysk 2002 は “ekāmbārā” と “āvṛtā” を分けて解するが、格限定複合語と解釈した。
- (29) Zysk 2002 は “bhūmāv” と “apramattā” の間で文を切って解釈するが、pāda の切れ目を考慮して、従わなかった。
- (30) Zysk 2002 は 「甘い酒 (sweet liquor)」 と解するが、従わなかった。
- (31) Zysk 2002 は “libations (ぶどう酒, 神酒, 献酒等)” と解するが、従わなかった。
- (32) pāda b の否定辞 na をどこまでかけるかの判断は難しいが、Zysk 2002 に従った。
- (33) 「火に触れること」というのは、料理することを暗示しているとされる。Zysk 2002, p. 121, n. 202 を参照。
- (34) Zysk 2002 に従って補った。
- (35) 『マヌ法典』などによれば、偶数の夜に妻に近付けば、男子が生まれるとされる。yugmāsu putrā jāyante striyo yugmāsu rātriṣu/ tasmād yugmāsu putrārthī samviśed ārtave striyam// *Manusmṛti* 3.48. (Ed. Patrick Olivelle. New York: Oxford University Press, 2005) 「偶数夜には男子が、奇数夜には女子が生まれる。それゆえ息子を願う者は妊娠適時の偶数夜に妻と交わるべし。」(和訳は、渡瀬 2013 による)
- (36) Zysk 2002 は 「4 日目の夜 (the fourth night)」, および 「その夜に (on that night)」 と解するが、従わなかった。
- (37) Zysk 2002 は 「日夜 (day and night)」 と解するが、従わなかった。
- (38) Zysk 2002 は 「[惑星のような] 遠くの物を見ること」と解するが、従わなかった。
- (39) Zysk 2002 は “etat sarvam” を 「食べ物と飲み物 (food and drink)」 と解するが、従わなかった。
- (40) 第 215~242 詩節は、*Ratiramaṇa* 第 8 章の詩節と対応する。対応関係に関する詳細は、Zysk 2002, p. 34 の対照表を参照。
- (41) すなわち、ウッタラ・バルグニー (Uttaraphalgunī), ウッタラ・アーシャーダー (Uttarāśādhā), ウッタラ・パードラパダー (Uttarabhādrapadā) の 3 つを指す。Zysk 2002 を参照。
- (42) Zysk 2002 は 「あたかもバラモン殺しのように (as if he were a brahmin-killer)」 と解するが、従わなかった。バラモン殺しは大罪であり、『マヌ法典』11.72 以下で述べられる四大罪の筆頭に挙げられている。該当箇所和訳は、渡瀬 2013, p. 395 以下を参照。
- (43) RŚ 160-163 を参照。
- (44) 尊い女神 (bhagavatī)。
- (45) 人間の身体を構成する 7 つの要素 (養液, 血液, 肉, 脂肪, 骨, 髄, 精液) のひとつで、しばしば「乳糜 (chyle)」と訳される。Zysk 2002 は 「養液の過剰を抑制する (regulate the excess of the body’s nutrient fluid (rasa).)」 と解するが、従わなかった。
- (46) 妊婦が避けるべきことに関しては、*Suśrutasaṃhitā* (śārīrasthāna) 3.10, *Carakasamhitā* (śārīrasthāna) 8.21 などにも同様の記述が見られる。前者の該当箇所和訳は、大地原 1993a, p. 348 を参照。
- (47) 尊い女神 (bhagavatī)

- (48) RŚ 197-210 を参照.
- (49) 原語は “raktagulma.” 詳細は, *Carakasamhitā* (cikitsāsthāna) 5.18-19, *Suśrutasaṃhitā* (uttarasthāna) 42.13cd-15, *Aṣṭāṅghrdaya* (nidānasthāna) 11.49-55 等を参照.
Suśrutasaṃhitā の該当箇所和訳は, 大地原 1993b, p. 740 を参照.
- (50) 尊い女神 (bhagavatī)
- (51) 第 253~258 詩節は, *Ratiramāna* 第 10 章の詩節と対応する. 対応関係に関する詳細は, Zysk 2002, p. 34 の対照表を参照.
- (52) 蓮華性の定義的特質については, RŚ 34-39 を参照. 該当箇所の和訳は, 堀田 2021, p. 31 を参照. また, 蓮華性をはじめとする女性の分類は, 密教文献にも見られるため, 性愛学文献だけでなく, 密教文献も含めた総合的な考察が必要である. この点については, 菊谷 2011, p. 232, 注 22 を参照.
- (53) 雑色性の定義的特質については, RŚ 40-42 を参照. 該当箇所の和訳は, 堀田 2021, p. 31 を参照.
- (54) 貝殻性の定義的特質については, RŚ 43-46 を参照. 該当箇所の和訳は, 堀田 2021, pp. 31-32 を参照.
- (55) 牝象性の定義的特質については, RŚ 47-51 を参照. 該当箇所の和訳は, 堀田 2021, p. 32 を参照.
- (56) 輝かしい女 (gaurī)
- (57) 第 263~271 詩節は, *Ratiramāna* 第 11 章の詩節と対応する. 対応関係に関する詳細は, Zysk 2002, p. 34 の対照表を参照.